

# 子宮頸がん・子宮頸がん検診について

## 子宮頸がんってどんな病気？

日本の女性の中でも罹患する人が比較的多いです。**30～50歳代**に多いですが、近年**39歳以下の方の発病や死亡が増えています**。

発症の多くにヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が関連しているとされています（主な感染経路は性交渉と考えられています）。HPVは約8割の女性が生涯のうち1度は感染するごくありふれたウイルスで、免疫などの働き等で自然に治る人がほとんどですが、一部の人で感染が持続し「前がん病変」を経てがんに進行することがあります。

**検診で早期に発見して治療することにより、子宮頸がんで亡くなることを防ぐことができます**。検診は**自覚症状\***がないうちに受けることが大切です。

**※月経以外に出血がある、閉経したのに出血がある、月経が不規則などの症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。**

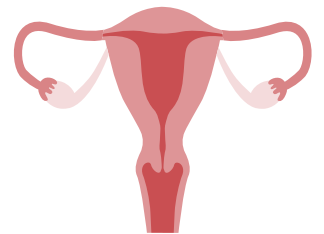
## 子宮頸がん検診について

松伏町では、国が「**死亡率を減少させることが科学的に証明された**」有効な検診としている**細胞診**を、国が推奨する方法で実施しています。

子宮頸がんの中には急速に進行するがんもあるため、**20歳になったら2年に1度、継続して受診し、「要精密検査」という結果を受け取った場合には必ず精密検査（コルポスコープ下の組織診・細胞診・HPV検査など）を受けるようにしてください。**

### ●子宮頸部の細胞診

子宮頸部を先にブラシのついた専用の器具で擦って細胞を取り、がん細胞など異常な細胞が無いかを顕微鏡で調べる検査です。**生理中を避けて検査を受けてください。**



「子宮頸がん」「がん検診」などの情報についてもっと詳しく知りたい方へ

国立がん研究センターの『がん情報サービス』では、わかりやすく確かな情報をお届けしています。

がん情報サービス



ganjoho.jp

